

2012年3月7日
一般社団法人日本音楽制作者連盟



日本音楽制作者連盟 MoMM × 横須賀美術館



日本の音楽シーンの新しい情報発信
音楽×アート 音楽情報を幅広い世代へ発信

一般社団法人日本音楽制作者連盟(the Federation of Music Producers Japan、以下音制連)は、常に実演家とプロダクションのための「権利の擁護と拡大」に努めてきました。2012年3月1日現在で、正会員 231 社、権利委任者 707 社(個人委任含む)、賛助会員 71 社から構成され、権利者から委任を受けた著作隣接権に係る権利行使や使用料、報酬等の徴収・分配業務、そして会員サポートを通じて音楽を取り巻く環境の発展に取り組んでいます。

このような中で、そうした音楽を取り巻く環境の発展に取り組む一環として、ミュージアム研究プロジェクト MUSEUM of Modern Music(以下、MoMM)を推進してまいりました。1960年代に音楽で自分たちの思いを表現する若者が現れて以来、何人ものアーティストたちが、あふれる思いを音楽に託し、それらの作品に共感するリスナーたちとともに、次第に大きなムーブメントをつくり出していきました。いま、その音楽の流れは豊かな大河となって、今日を彩っています。MoMM は、現在のミュージック・シーンにつながっている音楽の流れを俯瞰し、多くのアーティストたちが作り上げてきた音楽の魅力を再評価するための手がかりとなるデータをアーカイブすることを目的としています。それは、けっして過去を懐かしむことではなく、積み重ねられた音楽の記録を、未来に贈るべき私たちの宝物として、ひとりひとりのアーティストのスピリット、想いが作品を通じて、次の時代のアーティスト、そしてリスナーに届くことを願っているものです。

こうした活動に対して、この度、横須賀市様より、横須賀美術館の改革と更なる飛躍を目指して、既存概念に捉われず幅広くアート全般を対象とした企画展を試行したい旨の打診を受けました。横須賀市様からは音楽を軸とした今までにない、新しい企画提案が多数ございました。音制連も美術館での展示会を通じて、中高年層など音楽との接点が薄れている世代に対し、音楽の魅力を再認識していただく機会を創出できると考え、まずは実験的に 2012 年度下記の企画展を横須賀市様と共に行うことになりました。

横須賀美術館は横須賀市の市制 100 周年を記念し 2007 年 4 月 28 日に開館されました。環境全体が美術館のコンセプトのもと、教育展示への高い評価に加え、目前の東京湾・背後に観音崎の大自然のロケーションが全日本絶景美術館ランキング 5 位(※OCN アート調べ)に選ばれたり、ファッション雑誌等のロケ地として愛されております。こうした場所で、我々の主旨にご賛同いただき、お声をかけていただき、このような企画展を実施できることは非常に名誉なことと考えております。

— 企画展概要 —

企画展 1: 「会員アーティスト企画展」

幅広い音楽ファンから支持されているアーティストの写真や関連グッズの展示

開催時期 2012年 夏予定

企画展 2: 「日本のポップミュージック音楽史(仮称)」

70～90年代の音楽シーンを著名カメラマンからの提供写真、その他当時の関係資料により再現

開催時期 2013年 冬予定

以上

<本件に関する問合せ先>

一般社団法人日本音楽制作者連盟 事務局 金井文幸

TEL: 03-5467-6851 FAX: 03-5467-6852

URL: www.fmp.or.jp

【一般社団法人日本音楽制作者連盟について】

音楽プロダクション 231 社(2012 年 3 月現在)で構成される一般社団法人。1986 年に任意団体として設立され、1989 年 9 月に文化庁から社団法人の認可を取得。主に①音楽制作者並びにアーティストに関連する権利の擁護、②良質な音楽を創作するための環境整備、③音楽マーケットの拡大を目指した事業等を行っている。

具体的には、①約 1,400 組のアーティストから委任を受け、放送やレンタルにおける実演に関する権利報酬の分配。②音楽作品に関するレコーディングから商品の流通、プロモーション展開に至るまでのノウハウ等の調査、研究をはじめ、コンサート運営やマーチャンダイジングに関する調査、研究。③新しいアーティストの発掘、育成を目的とした NEXUS web サイトの運営④キャリアアーティストの活動履歴を収集、アーカイブ化するデジタルミュージアム「MoMM (MUSEUM of Modern Music、www.momm.jp)」の調査研究